

アパレシーダの日

ハローフレンド通信別冊 Hello from Fukuroi Vol.44

袋井市で10月といえばお祭りですが、10月12日はブラジルの大切な祝日「アパレシーダの日/Nossa Senhora Aparecida (ノッサ セニョーラ アパレシーダ) (英: Our Lady of Aparecida)」です。



アパレシーダ/Aparecida パブリックドメイン

「アパレシーダ/Aparecida」とは

「アパレシーダ」はブラジルにある聖母像で、ブラジルの守護聖人です。

「アパレシーダ」は、「現れた」という意味で、その名の通り、1717年に不漁の川から引き揚げられました。

「アパレシーダ」は引き揚げた人々を豊漁にしたことをはじめとして、数多の奇跡を起こしたとされ、信仰を集めています。アパレシーダ像は褐色で、宝石をちりばめた金の王冠と青いローブを身にまとっています。

アパレシーダの大聖堂

Santuário de Nossa Senhora da Conceição Aparecida

1745年にアパレシーダ像の礼拝所が、1834年には教会が建てられましたが、巡礼者が増え続けたので、1955年に大聖堂の建設が始まりました。



サンパウロ州 アパレシーダの大聖堂
Creative Commons Attribution 3.0 Brazil

毎年10月12日の「アパレシーダの日」には、このアパレシーダの大聖堂にブラジルのみならず、世界中から多くの巡礼者が訪れます。